

茨城大学リカレント教育プログラム

2020年度多文化理解パートナー育成講座 ～茨城の多文化共生を考える～



2019年4月の出入国管理及び難民認定法の改正を受け、
今後ますます在留外国人数が増加することが予想されています。

そのなかで、私たちはどのように地域に住む外国人と関わっていけばよいのでしょうか。

本講座では、県内の在留外国人を支援する団体の活動を映像で紹介し、
私たち地域住民ができる在留外国人に対する支援について考えます。

公開期間

2021年2月5日（金）～2月26日（金）

※**オンデマンド配信**（ご自宅や職場で受講いただけます。）

- 定員：100名（先着）
- 申込：茨城大学リカレント教育プログラム・公開講座ホームページ内専用フォーム(専門コース・多文化理解パートナー)よりお申し込みください。
(<http://koukai.scc.ibaraki.ac.jp/>)
- 受講料：無料
- 応募締切：2021年1月29日（金）
- 問合せ先：茨城大学社会連携センター
(029-228-8413)

主催：茨城大学／後援：茨城県



申込フォーム
QRコード



多文化理解パートナー育成講座 概要

講座 ▶ 私たちにできる在留外国人に対する支援を考える



インタビューー

瀬尾 匡輝

SEO

MASAKI

茨城大学全学教育機構 国際教育部門 准教授
専門：言語教育学、教育社会学

【動画公開期間】 2021年2月5日（金）～2月26日（金）

① 茨城県県民生活環境部 女性活躍・県民協働課

本県に在住する外国人が地域の一員として共生できる多文化共生社会の実現を目指しています。

② ひたちなか市国際交流協会

国籍、言語、慣習の異なる人々が対等な立場で共に生きる地域社会作りを目指し、日本語支援をはじめとした様々な活動を行っています。

③ 茨城大学 まなびの輪

大洗町での日本語教室の開催や、外国ルーツの子どもたちの支援、交流イベントの開催などを行っています。

インタビュー先（5団体）

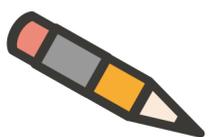
④ 茨城県内の中学校

在留外国人の増加に伴い、日本語の指導が必要な外国人児童生徒も増えてきています。県内のとある中学校の日本語授業の様子を取材させていただきました。

⑤ 多文化共生グループ おみたまじん

国籍・言語・文化の違いを理解し、ともに協力しあえる地域をつくることを目指して2013年から活動しているグループです。

受講条件： 事前登録のあった方のみ受講可能となります。



- ・登録方法についてはリカレント教育プログラム専門コースホームページをご確認ください。
(http://koukai.scc.ibaraki.ac.jp/professional_courses)
- ・申し込み期日までに必ず申し込みを行ってください。締切後のお申し込みはお受けできません。
- ・オンラインでの配信となるため、インターネット接続環境が必要となります。

注意事項： お申し込み後、動画視聴用のパスワードをお送りいたします。



- ・パスワードがないと受講できませんので茨城大学社会連携センターからのメールは受信できるよう設定をお願いいたします。
- ・パソコン等で一部対応していない機種・OS等がございます。
機器の問題等で受講できなかった場合は、本センターでは一切責任を負うことができませんので、予めご了承ください。